

氏名	小川孔美	部署	社会福祉子ども学科	職名	准教授
研究分野	高齢者福祉・高齢者虐待防止・専門職連携教育(IPE)&専門職連携実践(IPW)				
学位	修士(社会福祉学)				
学歴	1999年日本女子大学社会福祉学科、2001年日本女子大学大学院 人間社会研究科 社会福祉学専攻博士前期課程、2016年 首都大学東京大学院 人文科学研究科 社会行動学専攻 社会福祉学 後期博士課程満期単位取得退学				
経歴	2003年 埼玉県立大学保健医療福祉学部 社会福祉学科助手、2011年 埼玉県立大学保健医療福祉学部 社会福祉学科 講師				
所属学会(役職)	日本社会福祉士学会、日本高齢者虐待防止学会、日本保健医療福祉連携教育学会(IPW委員会)				

【2018年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	2018 e-learningコンテンツDVD作成『意思決定支援【支援付き意思決定:Supported decision-making】 Expressed Wish(表出された意思、心からの希望)を見出すための会話』	単著	埼玉県立大学	○小川孔美	2019年3月
2	地域介護予防把握事業委託業務 八潮市地域包括ケアシステムモデル地区(伊草団地)実態調査報告書	共著	八潮市/専門職ヒヤリング調査:調査の概要、専門職グループインタビュー結果の概要その1/住民懇談会の実施、調査の概要、住民グループ・インタビュー結果の概要(その2)	八潮市長寿介護課 埼玉県立大学八潮市モデル地区調査プロジェクトチーム 木下聖、長友祐三、小川孔美、佃志津子	2019年3月
3					
(2) 論文					
1	地域包括ケアを目的とした在宅医療推進のための多職種連携研修会-地域ケア会議から見えている課題内容の構造化と解決手法の検討		公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団、P1~109	○小川孔美	2018年9月
2					
3					
(3) 学会発表					
1	地域包括ケアを目的とした在宅医療推進のための多職種連携 -地域ケア会議における認知症利用者の課題-	単著	第11回日本保健医療福祉連携教育学会	○小川孔美	2018年8月
2	地域包括ケアを目的とした在宅医療推進のための多職種連携 -地域ケア会議における認知症困難事例の支援課題と認知症ケアパス検討-	埼玉県/保健医療政策課 研修・国際協力・免許担当	第20回埼玉県健康福祉研究発表会	○小川孔美	2019年1月
3					
(4) その他					
1	2018 e-learningコンテンツ意思決定支援【支援付き意思決定:Supported decision-making】 Expressed Wish(表出された意思、心からの希望)を見出すための会話	単著	2018 e-learningコンテンツ成果報告会	○小川孔美	2019年3月
2					

3				
2. 競争的資金等の研究				
	競争的資金等の名称		研究名、研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団2017年度在宅医療助成 (前期)「地元医師会、行政を交えた顔の見える多職種連携研修会への助成」		地域包括ケアを目的とした在宅医療推進のための多職種連携研修会 ー積み重ねてきた地域ケア会議検討内容からの提案ー 研究代表 小川孔美	1年(2017年8月～2018年8月)
2	平成30年度(第49回)三菱財団社会福祉 事業・研究助成		地域連携・協働を基盤とした住民主体による課題解決力強化のための包括的相談支援体制モデルの構築 研究代表 小川孔美・研究分担者 木下聖	1年半(2018年10月から2020年4月)
3	八潮市地域介護予防把握事業に係る業務支援業務委託		研究代表 木下聖・研究分担者 長友祐三・小川孔美・佃 志津子	2018年5月1日から2019年3月31日まで(2019年度も継続予定)
3. 教育業績				
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
(1) 講義				
1	高齢者福祉論	2018.4～2018.8	高齢者福祉における最近の動向について、厚生労働省の各種審議会、介護保険制度の最新情報を取り入れた講義を展開	
2	社会福祉概論	2018.4～2018.8	対象が1年生のため、社会福祉の基本的概念が深まり、興味、関心が持てる内容を題材とし、特に社会福祉の歴史、多職種による連携、高齢者福祉について動画等を導入し、講義した。	
3	IPW総合課程(大学院)	2018.9	IPWに必要とされるファシリテーションスキル	
(2) 演習				
1	社会福祉演習	2018.4～2018.8	社会福祉の対象を見つめる視点を掘り下げるとともに、大学生としてのアカデミックリテラシーの向上となる演習を行った。また、地域共生の動向をとらえ、市の地区センターの協力を得て、学生をフィールドワークをしながら、地域とは何かを知り、直接、地域に住む人、課題をとらえられる教育内容とした。今年で2年目となっており、地域から好評をいただいている。	
2	社会福祉演習Ⅳ	2018.10～2019.2	社会福祉におけるコミュニティワークの概念が定着できるよう、コミュニティへのアプローチに関する提案(支援プログラム)の必要性等について、フィールドリサーチを取り入れ、社会各資源との調整と助言に力を入れた。	
3				
(3) 実習				
1	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2018.10～2019.2	ソーシャルワーク実習指導Ⅰで何を学ぶのか理解を深めるため、先輩の体験談を聞き、互いにディスカッションできる場を取り入れた。	
2	ソーシャルワーク実習	2018.4～2019.3	ソーシャルワーク実習に安心に取り組める環境づくりのため、実習指導者様との綿密な連絡、調整を行うとともに、学生とは、いつでも連絡をとりあえる状況とした。	
3	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	2018.4～2018.6	ソーシャルワーク実習にて学んだことを、十分に言語化、表現し、自身の専門性の強化に繋がる助言指導を行った。	
4	IPW実習担当	2018.10	埼玉県立大学で深めてきたIPE,IPWの概念が伝わるよう、事前学習の内容をはじめ、現場で学ぶ内容を、施設ファシリテーターと相談しながら深めた。	
(4) 論文指導				
1	卒業課題研究指導	2018.4～2019.3	主指導:2名	
2				
3				

(5) その他			
1	サークル活動顧問(4サークル)	2018.4～2019.3	学生ボランティア団体MAGO、子ども食堂開催じゅげむ、卓球 S-MASH、僕らの夏休みProject埼玉県立大学支部 4サークルの顧問として支援
2	東洋大学とのゼミ合宿(IN 長野 佐久総合病院佐久医療センター、小海分院等)	2018.11	東洋大学社会学部社会福祉学科 吉浦ゼミ学生と小川ゼミ学生との合同合宿。地域医療と福祉の連携、IPWを実際に深めるための医療センターにおける劇団活動等について学ぶ機会を企画した。
3			

4. 社会貢献活動

(1) 講演会、研修会等の講師

	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	認知症ケアパスをみんなで作るー越谷バージョン	越谷市医療と介護連携の会ワーキングチーム	地域包括ケアを目的とした在宅医療推進のための多職種連携研修会 ～地域ケア会議における認知症課題解決のための手法～	2018年5月
2	市民の皆さまと ともに考える 家で暮らすということーみさと団地調査結果からー	三郷市在宅医療・介護連携推進事業	ともに看取りと向き合う最前線	2018年6月30日
3	高齢者福祉について	春日部市	春日部市ふれあい大学院	2018年7月9日
4	地域の特性を活かして創りあげる地域包括ケアシステム	蓮田氏健康福祉部在宅医療介護課	蓮田市地域包括ケア推進代表者会議	2018年7月11日
5	「在宅での看取り」看取り事例研究会とケアプラン作成	川越市地域包括支援センター	在宅での看取り	2018年7月24日
6	春日部市で老いるということ	春日部市	春日部市ふれあい大学院	2018年7月23日
7	2018年度 多職種連携事例発表会／草加市文化会館	株式会社 ツクイ	地域包括ケア 幸せの介護の輪を広げよう	2018年11月19日
8	越谷市長とのふれあいミーティング	越谷市広報公聴課	学生ボランティア団体MAGO が展開する支援と「おしゃべりMAGOサロン」	2018年11月25日
9	脳卒中で倒れたらー使えるのは介護保険サービスだけ？	地域で共に生きるナノ	高次脳機能障害ピア・カウンセリング事業「高次脳機能障害」研修会／鷹野文化センター	2018年12月1日
10	「専門職連携教育と専門職連携実践とは～IPW実習 ファシリテーターを通して今語るべきこと」	埼葛南専門職連携推進会議	第23回埼葛南専門職連携推進会議／県民健康センター	2019年2月13日

(2) 国、自治体、財団法人等における委員等

	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	一般社団法人 地域ケア総合評価機構	理事	2011～現在
2	越谷市医師会事務局医療と介護連携世話人会	世話人委員	2015～現在
3	NPO成年後見センター埼玉東部	監事	2017年～
4	蓮田市 地域包括ケア推進代表者会議	顧問	2018年4月～(2年)
5	NPO法人地域でともに生きるナノ	理事	2018年～

(3)ジャーナリズムでの発言

	メディア等の名称	内容	年月
1	広報こしがやお知らせ版	協働の担い手たち54 埼玉県立大学学生ボランティア団体MAGO https://www.city.koshigaya.saitama.jp/kurashi_shisei/shisei/koho/kooho_kosigaya/h_30/osirase3004.files/1364_H300401_08-09.pdf	2018年4月
2	12月号 広報こしがや	まちのわだい「高齢者の笑顔のために活動する学生ボランティア」	2018年12月
3			

5. 学内運営(委員会委員)

1	入試委員会 入試実施部会 オープンキャンパス
2	地域専門職連携推進部会
3	専門職連携・協働講座運営
4	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会理事

6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)

	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		

7. 特許の保有状況

	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		

8. 特記事項

	該当なし
--	------